

業務改善助成金導入事例（食料品製造業）

業務改善助成金・導入前

日々の作業工程の見直しや従業員の協力もあり、生産量が増加する見込みであったが、従来使用していたウエイトチェッカーは、計量速度が遅く、生産量増加を妨げていた。

導入後



【ウエイトチェッカー】



【ウエイトチェッカー】

導入後・生産性向上の効果

- 高性能なウエイトチェッカーを導入したことにより、包装ラインの稼働スピードが向上し、生産量増加を実現。
- 導入した最新のウエイトチェッカーは、従来使用していたウエイトチェッカーと比較すると操作性に優れ、包装ラインの他の機器と商品データを連携することが可能となった。このため、生産品目変更時においても切り替え作業が簡素化し、包装ライン全体の稼働効率も向上。
- 導入の結果、相乗的に売り上げが増加。また、設備投資を行ったことで取引先とより強固な信頼関係を築くことが可能となり、今後の受注増加も見込める見通しとなった。

事業場の概要

なかしまフーズ株式会社（下関市）
従業員数 30名

導入内容

ウエイトチェッカー

改善に要した費用

1,270,000円

助成金額

1,143,000円

申請コース

30円コース



厚生労働省山口労働局